

国際医療福祉大学

5キャンパス 11学部28学科

大田原 キャンパス

〒324-8501
栃木県大田原市北金丸 2600-1

入試事務室
TEL. 0287-24-3200 FAX. 0287-24-3199

URL <https://otawara.iuhw.ac.jp/>
E-mail nyushi@iuhw.ac.jp

26万㎡(東京ドーム約5.5個分)の広大な敷地に、学修・研究のための15棟の校舎とさまざまな設備を整備しています。キャンパス内に6つの医療福祉施設を併設しているのが、大田原キャンパスの大きな特長です。高齢者や障害を持つ方々と日常的に触れ合える教育・医療・福祉が一体となった理想的な教育環境のもと、医療福祉従事者にふさわしい人間性が形成されます。



保健医療学部

- ▶ 看護学科
- ▶ 理学療法学科
- ▶ 作業療法学科

言語聴覚学科

- ▶ 視機能療法学科
- ▶ 医学検査学科
- ▶ 放射線・情報科学科

医療福祉学部

- ▶ 医療福祉・マネジメント学科 [福祉系]
- ▶ 医療福祉コース [マネジメント系]
- ▶ 経営情報コース

薬学部

- ▶ 薬学科(6年制)

成田キャンパス

千葉県成田市公津の杜4-3
TEL. 0476-20-7810

医学部

- ▶ 医学科

成田看護学部

- ▶ 看護学科

成田薬学部

- ▶ 薬学科(6年制)

成田保健医療学部

- ▶ 理学療法学科
- ▶ 作業療法学科
- ▶ 言語聴覚学科
- ▶ 医学検査学科
- ▶ 放射線・情報科学科

小田原キャンパス

神奈川県小田原市城山1-2-25(本校舎)
TEL. 0465-21-0361

小田原保健医療学部

- ▶ 看護学科 ▶ 理学療法学科 ▶ 作業療法学科

大川キャンパス

福岡県大川市榎津137-1
TEL. 0944-89-2000

福岡保健医療学部

- ▶ 看護学科
- ▶ 理学療法学科
- ▶ 作業療法学科
- ▶ 言語聴覚学科(2023年度から募集停止)
- ▶ 医学検査学科

福岡薬学部

- ▶ 薬学科(6年制)

東京赤坂キャンパス

東京都港区赤坂4-1-26
TEL. 03-5574-3903

赤坂心理・医療福祉マネジメント学部

- ▶ 心理学科 ▶ 医療マネジメント学科

ST

言語聴覚学科

Speech-Language Hearing Therapist



国家資格 言語聴覚士

言語聴覚士は
コミュニケーションをサポートし、
その人らしい生活が
できるよう支援します。



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

<https://www.iuhw.ac.jp/>

※国際医療福祉大学については
「国際医療福祉大学GUIDEBOOK2026」を、
大田原キャンパスについては
「大田原キャンパスGUIDEBOOK2026」を
ご覧ください。



25066000



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

大田原キャンパス

言語聴覚士の仕事とは？

話す、聞く、表現する、食べる・・・。
 誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで
 不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。
 こうした、ことばによるコミュニケーションや嚙下に問題がある方々の
 社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。



言語聴覚士の活躍と未来

言語聴覚士は1997年に国家資格化された比較的新しい専門職で、活躍の場は高齢社会の進展に伴い、病院や保健・福祉施設のほか、子供を対象とした教育・福祉現場にも拡大しています。野村総合研究所とオックスフォード大学の調査では、「AI(人口知能)やロボットではできない仕事・20年後に残る仕事」として精神科医と並んで1位となり、将来性が高い仕事といえます。

医療チームの一員として活動

医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士など医療専門職、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・介護援助専門員などの保健・福祉専門職、教育、心理専門職などと連携し、言語聴覚士もチームの一員として活動します。

ライフステージの変化にあわせて働きやすい

言語聴覚士の職場環境は夜勤がなく、就業時間が規則的であることや産前・産後休暇・育児休暇の活用、託児所を併設している施設も多い点などから、結婚後も長く仕事が続けられるのも魅力のひとつです。言語聴覚士は国家資格であるため、一時的に職を離れる時期があっても再就職は比較的容易であり、これまでの経験を次のステージに生かせるのも特長です。

必要な資質

言語聴覚療法の対象は、高齢者や乳幼児、事故や病気の後遺症で悩む方々などさまざまであり、思い通りにことばを発してコミュニケーションが難しく、もどかしい気持ちでいる場合がほとんどです。患者さんと信頼関係を築くためには、知識や技術はもちろんのこと、観察力や想像力、患者さんに的確に伝えるための表現力、患者さんの思いを受け止めることのできる豊かな人間性が大切になります。

言語聴覚士に向いている人

人と接することが好きな人



相手の言うことにじっくり耳を傾けられる聞き上手な方、人と接することが好きな方は長所が生かせる仕事です。

子どもが好きな人



ことばの発達やそのお子さん自身の成長を近くで支援することができます。子どもに関わる仕事に興味のある方はやりがいを感じられる仕事です。

コツコツと何かをするのが好きな人



言語聴覚士になるためには幅広い分野の勉強をコツコツとやり続ける粘り強さが求められます。さらに、患者さんに向き合い、長期間にわたる訓練を続ける根気強さが必要な仕事です。

資格を生かし、人を支える仕事がしたい人



言語聴覚士は子どもから高齢者まで幅広い年代の患者さんを対象にリハビリテーションで生活を支援する、たいへんやりがいのある仕事です。働きやすい環境であり、国家資格として安定性も抜群です。



大田原キャンパス
 言語聴覚学科長
 言語聴覚センター長
 平島 ユイ子教授

国立広島大学学校教育学養護学校教員養成課程 卒業。
 国立福岡教育大学大学院教育学研究科障害教育専攻 修了(修士)。
 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所保健医療学専攻 修了(博士)。
 日本聴覚医学会・日本音声言語医学会合同委員会委員。
 日本教育オーディオロジー研究協議会理事。
 福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科専攻科長を経て本学着任。

私たちにあって、「ことば」や「聞こえ」は、気持ちを伝え、社会とつながるためになくてはならないものです。また、「食べる・飲む」は、生きる喜びに関わるものです。しかし、これらが発達上の問題や病気によって困難になる場合があります。言語聴覚士は、専門的な知識と技術をもって、「ことば」「聞こえ」「食べる・飲む」に問題をもつ方々に訓練や指導を行います。対象は、乳幼児から高齢者まであらゆる年代の方々です。大田原キャンパスの特長は、カリキュラムと実習環境が充実していることです。キャンパス内に言語聴覚センターが併設されており、講義の内容を実際の臨床と結びつけて学ぶことができます。言語聴覚士は、文系、理系を問わない職種です。患者様にじっくり向き合い、深い信頼関係を築きながら支援することが求められます。人と関わることが好きで、社会の役に立つ仕事をしたいと考えるみなさんをお待ちしています。

充実した学びのサポートで 言語聴覚士を目指す学生を支援。

アドバイザー制度

入学時から卒業時までの4年間、アドバイザー教員が学習面から生活面まで大学生活の相談や支援を行います。アドバイザー教員ごとに小グループを形成し、定期的な面談や国家試験対策などきめ細やかに指導します。



国家試験サポート

大田原キャンパス言語聴覚学科は、国家試験合格者数は開学以来全国1位です。この秘訣は、低学年から始まる国家試験対策模試や4年次の国家試験対策講義、アドバイザーグループによる学び合いなど、本学独自の国家試験対策にあります。豊富な経験をもつ教員たちが国家試験の問題傾向を分析し作成したオリジナル模試や国家試験対策講義が段階的に設定され、実力をつけていきます。

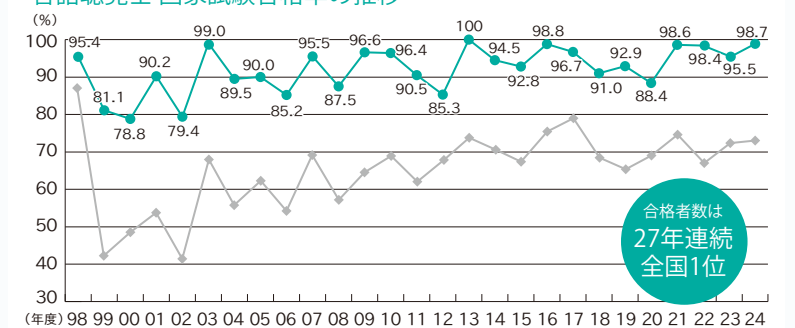


1998年から27年連続で全国1位。 全国トップクラスの国家試験合格者数

本学では国家試験全員合格をめざして、これまで蓄積されてきた指導ノウハウを用いた国家試験対策を早期から展開し、合格へ導く体制を整えています。豊富なデータから出題傾向を分析し、模擬試験を年に複数回実施しています。その結果、27年連続で合格者数全国1位を達成しています。

| | |
|------------------------------------|---|
| 合格率 98.7% 全国合格率 72.9% | 2024年度 合格者数 全国1位 合格者 74名 |
|------------------------------------|---|

言語聴覚士 国家試験合格率の推移



充実の実習環境と実務経験豊富な教員

恵まれた実習環境を生かし、臨床経験豊かな教員が直接臨床実習の指導を行います。

アジア有数の言語聴覚センターを併設 他大学に類をみない最先端の実習環境を整備

大田原キャンパスには、最先端の演習設備があり、学生は充実した評価検査機器を日常的に使用できます。特に、キャンパス内にアジア有数の設備が整えられた言語聴覚センターがあり、実習施設として頻りに利用されています。教員から直接指導を受けながらさまざまな障害に対応した実習を行うことができ、学んだ知識を実践する機会が多いため、実際の現場で役立つ、十分な経験を積むことができます。

このほか6つの附属病院をはじめ、臨床医学研究センターという位置づけの関連病院・施設を各地に保有しており、これらの施設で最新のスキルを修得できます。

国際医療福祉大学クリニック

言語聴覚センター（大田原キャンパス内）

言語聴覚センターは、言語聴覚障害の治療やリハビリテーションを専門的に行う、アジアでも有数の専門施設です。幅広い言語聴覚障害に専門的に対応する当センターは、小さなお子さんから高齢者の方まで、近隣地域の方に頼られるだけでなく、遠方からも専門的な治療を求めて来られる患者様が多くいらっしゃいます。特に、こどもの言葉の相談、吃音や声の相談、聞こえの相談、飲み込みの相談などに対応する専門外来を設け、専門性を磨いた言語聴覚士が、耳鼻咽喉科や小児神経科の医師と協働して対応しています。学生は1年次から4年次まで臨床実習施設として当センターを利用し、臨床の最前線を間近で感じながら学修を進めることができます。言語聴覚学科教員は当センターで臨床に従事しており、講義と実習を車の両輪と考え、臨床に即した教育を行います。



STセンター（施設概説）



耳鼻咽喉科診察室
言語聴覚士は医師の診察に同席し、指導・訓練方針を話し合います。学生は見学実習を行います。



グループセラピー室
個別だけでなく、集団での指導・訓練を通して、より実践的なコミュニケーション能力を高めます。



観察室（成人用/小児用）
マジックミラーから訓練室内の指導・訓練の様子を見学し、言語聴覚士の臨床技術や対応を学びます。



聴覚検査室・防音室
赤ちゃんから高齢者まで聴力検査ができるよう、防音室と各種聴力検査機器が整備されています。

附属病院や臨床医学研究センターが実習を強力にバックアップ

専門スキルを身につけるうえで特に重要なのは「臨床実習」の環境です。

附属病院のほか臨床医学研究センターという位置づけの関連施設を多く持つ本学では、充実した臨床実習を行っています。

附属病院（一部抜粋）



国際医療福祉大学病院
(栃木県那須塩原市)



国際医療福祉大学塩谷病院
(栃木県矢板市)



国際医療福祉大学成田病院
(千葉県成田市)



国際医療福祉大学市川病院
(千葉県市川市)



国際医療福祉大学三田病院
(東京都港区)



国際医療福祉大学熱海病院
(静岡県熱海市)

確実な専門技術の習得には、
講義、演習、臨床実習が点と線であつながること。



言語聴覚学科 教授 | 前新 直志

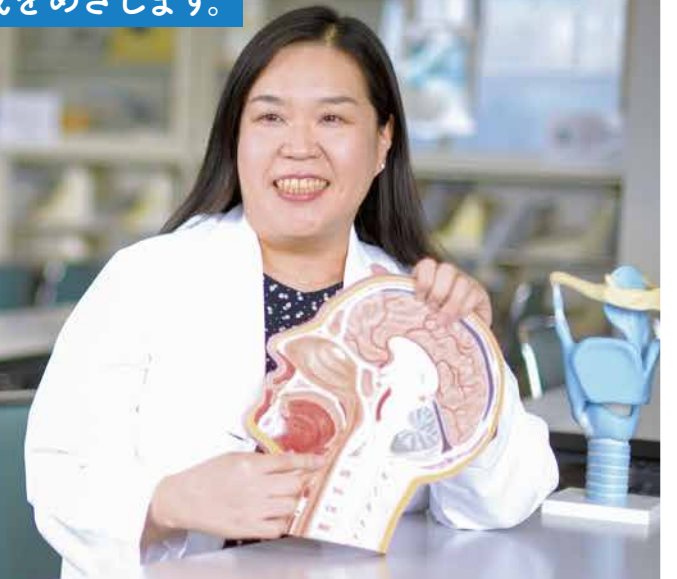
言語障害を理解するためには、まずことばの生成メカニズムを知る必要があります。発音は呼吸を利用し声帯でつくられた音を口（特に舌）や鼻で細かく変化させることで可能となります。例えば、「ち」と「じ」の発音の違いは何でしょうか？「ば」と「ぱ」は同じ口の動きなのに、なぜ異なる音になるのでしょうか？小さい「っ」の発音方法は？音声言語医学や音声学、構音障害学などを学ぶと分かりますが、ことばがつくられるメカニズムには不思議で意外な点があつてもあります。演習では、声帯（喉頭）模型を使って器官構造を学び、音響分析で実際の声を分析しながら、ことばの生成メカニズムと病態理解を深めていきます。しかし、一方でことばはコミュニケーションにとって絶対的ではありません。“目は口ほどに物を言う”ということわざもありますが、ことばの問題で苦悩する患者さんと長く接していると、ことば以上に大切なことがたくさんあることに気づかれます。言語聴覚センターでの実習では、ことばとコミュニケーションの重要性を踏まえた言語治療技術を修得します。豊富な臨床経験と研究に従事してきた教員が多い本学科は、患者さんの心に寄り添い、共に生きる関係性と円滑なコミュニケーション支援を主体的に担える言語聴覚士を養成していきます。

自ら考える高い思考力を有した
言語聴覚士の育成をめざします。

言語聴覚学科 准教授 | 平田 文

保健医療学部 言語聴覚学科卒（1期生）

言語聴覚士は、「話す」「聞く」「育む」「食べる」の専門家です。私が担当している講義「摂食嚥下障害学Ⅱ」は、食べる機能の障害に対するリハビリテーションを学びます。講義では、患者様の嚥下造影検査（食べ物飲み込みの様子をレントゲンで撮影する検査）や嚥下内視鏡検査（食事時の喉を内視鏡で観察する検査）の画像を元に嚥下障害メカニズムについて学ぶ講義や、実際の食べ物やトロミ調整飲料を用いて嚥下リハビリの手技を学ぶアクティブ講義を行います。また、摂食嚥下リハビリテーションにはチームアプローチが欠かせないため、本学の特色である「関連職種連携教育」で臨床実践力を養います。





他学科とのつながりで 多角的な視野が身につく

曾根 和花さん (1年)
栃木県立矢板東高等学校 出身

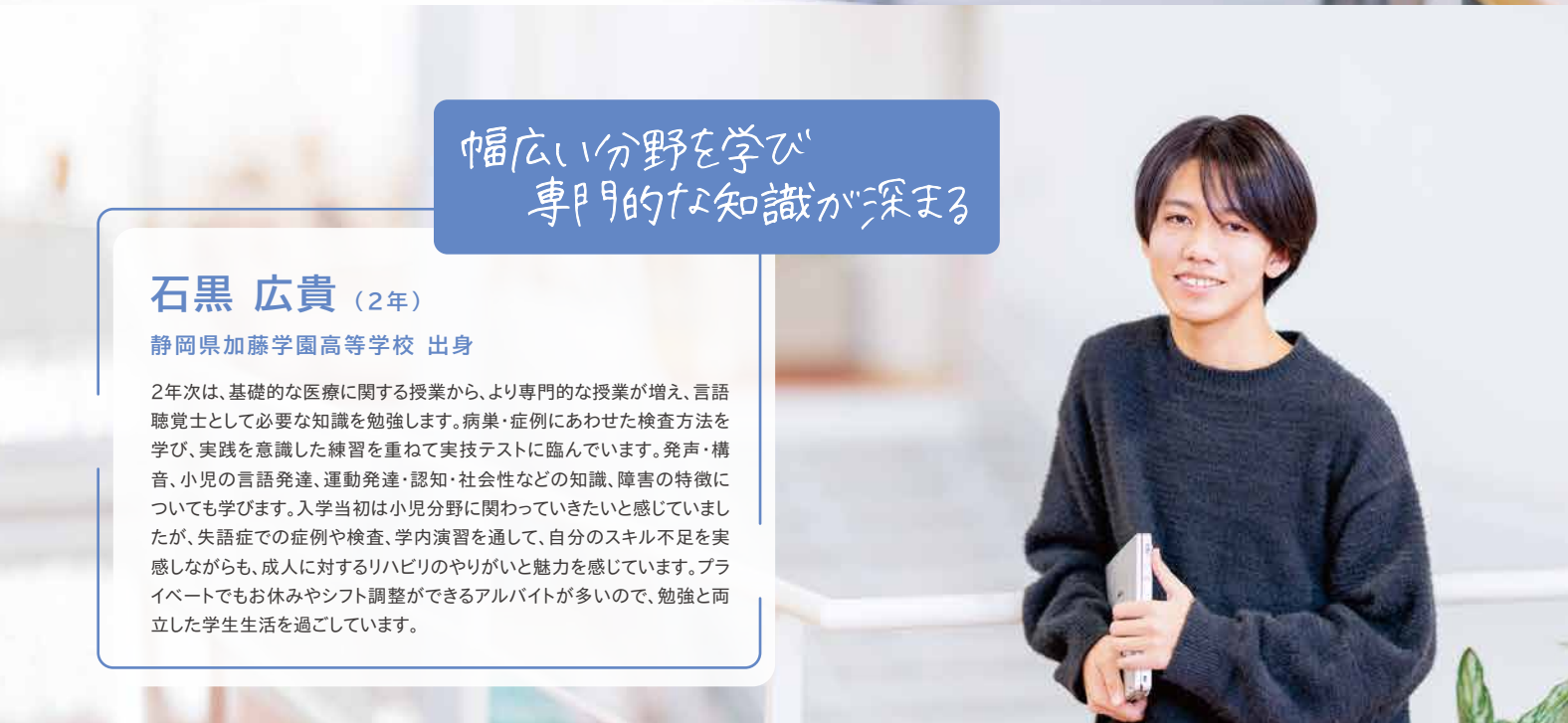
小学生の頃、友人の発音の練習を手伝った時の成功体験や、祖母が術後に声のリハビリを受けていたことが、言語聴覚士をめざすことになったきっかけです。大学選びでは、技術と洞察力を培えるカリキュラムが充実していることが条件でした。本学では、関連職種連携実習で実際の医療現場の雰囲気に触れることができ、現在の医療に必要な不可欠な「チーム医療・チームケア」を実践的に学べる環境があります。高校とは違い、授業でさまざまな人と交流できることも本学ならではの魅力です。他学科の学生とディスカッションする機会も多く、多角的な視点やコミュニケーション能力、協調性が身につけていると思います。



実習を重ねることで 自身の成長を感じる

伊藤 莉那さん (3年)
青森県立青森東高等学校 出身

3年次は専門性がさらに高まり、検査などの評価だけでなく訓練についても学びます。訓練は2年次までに得た知識が非常に重要となり、暗記だけでなく論理的に考える思考が必要で、絶対的な解のない問題に取り組む難しさを感じました。実際の施設での実習では臨床態度や技能、他職種との連携力を養いながら、患者さんとの適切なコミュニケーションや評価法、訓練方法を学びます。検査の評価では患者さんに内容をわかりやすく伝えることができずに悔しい思いもしましたが、指導者のアドバイスを通して患者さんの特徴や自分自身の改善すべき点など気づくことができました。実習での経験が自身の成長に繋がっていると感じています。



幅広い分野を学び 専門的な知識が深まる

石黒 広貴 (2年)
静岡県加藤学園高等学校 出身

2年次は、基礎的な医療に関する授業から、より専門的な授業が増え、言語聴覚士として必要な知識を勉強します。病巣・症例にあわせた検査方法を学び、実践を意識した練習を重ねて実技テストに臨んでいます。発声・構音、小児の言語発達、運動発達・認知・社会性などの知識、障害の特徴についても学びます。入学当初は小児分野に関わっていきたく感じていましたが、失語症での症例や検査、学内演習を通して、自分のスキル不足を実感しながらも、成人に対するリハビリのやりがいと魅力を感じています。プライベートでもお休みやシフト調整ができるアルバイトが多いので、勉強と両立した学生生活を過ごしています。



めざす言語聴覚士像を 描いた4年間

高崎 友萌 (4年)
茨城県立下館第一高等学校 出身

4年間の学びを通して、実際の現場で患者さんとリハビリをする様子や他職種との連携を見ることで、自分がめざすべき言語聴覚士像を確立することが出来ました。患者さんの介助量や摂食姿勢、集中力の持続時間を考慮しながら、食事形態や量の調節、患者さんの味の好みも考慮し、食欲や笑顔を引き出す先輩の言語聴覚士の姿を見て、摂食嚥下分野に興味を持ちました将来は栄養サポートチームに携わりたいと考えています。現在は、国家試験に向けて教科書と過去問を用いて対策しています。模擬試験は苦手教科や理解度を客観的に分析できるので、目標点数を設定して取り組んでいます。グループ学習では、皆で協力し合いながら4年生全員で合格をめざしています。

1年次

言語聴覚療法の基礎を幅広く学ぶ。

言語聴覚士の役割・職務、言語聴覚障害の種類と症状について基礎的な知識を学ぶ。人体の構造と機能や疾病を理解します。また、本学関連施設で、子どもや高齢者とのコミュニケーション技能を修得します。

1年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - リハビリテーション概論
 - 保健医療福祉制度論
 - 解剖学
 - 生理学
 - 病理学
 - 医療概論
 - 生涯発達心理学
 - 神経心理学
 - 言語学
 - 基礎音声学
- 専門科目**
 - 言語聴覚障害学概論
 - コミュニケーション技能演習
- 総合科目**
 - 大学入門講座
 - 英語購読
 - 英語CALL

2年次

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の問題の発生メカニズムに迫る。

「ことば」と「聞こえ」、「飲み込み」の障害について総合的に学ぶ1年間。また、対象者を正確に評価・診断するための知識と技法を修得します。教員の臨床を見学しながら、臨床家としての第一歩を踏み出します。

2年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 関連職種連携論
 - リハビリテーション医学
 - 小児学
 - 臨床神経学
 - 臨床歯科医学
 - 音声言語医学
 - 中枢神経機能学
 - 聴覚医学
 - 臨床心理学
 - 学習心理学
 - 認知心理学
 - 心理測定法
 - 心理測定法演習
 - 言語心理学
 - 言語発達学
 - 音声学
 - 音声音響学
- 専門科目**
 - コミュニケーション障害演習
 - 失語症・高次脳機能障害学総論
 - 言語発達障害学総論
 - 言語発達障害学各論
 - 聴覚障害学総論
 - 聴覚機能評価学
 - 発声発語障害学総論
 - 流暢性障害学
 - 構音障害学

3年次

評価・訓練・指導法を体系的に学修。実践で使える技能に発展させる。

各種障害(失語症、高次脳機能障害、音声障害、構音障害、聴覚障害、言語発達障害、摂食・嚥下障害)を専門的に学び、評価・訓練・指導法を体系的に学修。評価実習で、知識から実際に使える技能へと結びつけます。

3年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 関連職種連携ワーク
 - 内科学
 - 精神医学
 - 耳鼻咽喉科学
 - 形成外科学
 - 口腔外科学
 - 聴覚心理学
- 専門科目**
 - 言語聴覚障害診断学
 - 失語症学
 - 失語症・高次脳機能障害学演習
 - 高次脳機能障害学
 - 言語発達障害学
 - 聴覚補償論
 - 小児聴覚障害学
 - 成人聴覚障害学(二重障害を含む)
 - 構音障害学
 - 音声障害学
 - 摂食・嚥下障害学
 - 言語聴覚障害基礎演習
 - 臨床実習Ⅰ(基礎)
 - 言語聴覚障害学研究法

4年次

附属施設や全国の病院で最先端の臨床技術を修得。

言語聴覚センターをはじめとする本学の附属・関連施設や全国の医療機関で、総合実習を実施し、総合的な臨床力を養います。卒業前には、最新の知識や臨床技術を学んだうえで、社会へと巣立ちます。

4年次の主なカリキュラム

- 専門基礎科目**
 - 関連職種連携実習
- 専門科目**
 - 言語聴覚療法特論
 - 言語聴覚障害学特論(総括)
 - 臨床実習Ⅱ(総合)
 - 卒業研究

言語聴覚士として活躍する卒業生

大学での学びを生かして専門分野で活躍する卒業生に、現在の仕事内容ややりがいについて話してもらいました。

佐鳥 春奈さん

国際医療福祉大学病院
リハビリテーション室 勤務 (2017年度卒)

病院では多職種が連携して、患者様が家庭・社会復帰できるように取り組んでいます。その中で私は言語聴覚士として、コミュニケーション障害や摂食嚥下障害を持つ患者様を担当しています。病院での言語聴覚士の仕事は、人の生活に欠かせない「話す、聞く、食べる」ことに問題を抱えた方々のお手伝いをします。具体的には言語機能が低下し言葉が出にくくなった患者様には、その症状が生じる原因を調べ、言葉の訓練を行います。今まで食べていた食事が嚥下障害により食べられなくなってしまった患者様には、安全に食事が摂れるような飲み込み方を訓練し、むせずに食べられるようにします。人によって生じる障害は異なっているため、それぞれの患者様をよく見て、一番適した訓練方法を行うよう心掛けています。



鈴木 菜月さん

国際医療福祉リハビリテーションセンター
リハビリテーション課 勤務 (2020年度卒)

小児のリハビリテーションを行う施設で勤務しています。発達障害のお子さんの言葉やコミュニケーションの評価や指導を中心に、重症心身障害児者のコミュニケーション、飲み込みの評価などに携わっています。患者様の得意・不得意を把握して個々に合わせたリハビリテーションを実施し、評価や指導は医師や他職種と連携して行っています。臨床を通して、言葉の発達を実感できた時やコミュニケーションが成立した際には、お子さんとともに自分も成長できた気持ちになります。ご家族をサポートしていく中で困り感が軽減し、お子さんと接し方に変化があったときの喜びなど、ご家族と感情を共有できる言語聴覚士は素晴らしい職業だと実感しています。



中山 陽介さん

山王メディカルセンター
国際医療福祉大学東京ボイスセンター 勤務 (2016年度卒)

ボイスセンターは「声」と「のど」を専門に外科治療やリハビリ治療を行う施設です。日本でも有数の、声を専門とする医師と連携して治療を行っています。具体的には「声が出ない」「かすれ声で話すことに苦痛を感じる」など、声を出すことに困難を感じる方や声をお仕事とする方へ高度な音声・言語リハビリテーションを提供しています。声はコミュニケーションを行う上で大きな役割を果たし、その方の仕事や人生にも影響を与えるものです。そんな声に対する悩みを聞き、一緒に解決に向かって頑張る過程や、その方の悩みを解決できたときにやりがいを感じます。患者様と向き合う中で、医学的な知識だけでなく、臨床実習で培ったコミュニケーション能力が生かされていると感じています。



それぞれの患者様に
適したサポートで支えたい



患者様のご家族に
寄り添い支援したい



患者様に寄り添い
悩みを解決したい



一人ひとりの適性に合わせたサポートで、学生全員を医療福祉の世界へ送り出しています

医療福祉系大学のなかでも 圧倒的な求人数と、高い就職率

本学卒業生の実績や評判によって、全国から数多くの求人が寄せられており、その数は約1,600件にもなります。さらに言語聴覚学科教員の強力なバックアップ体制とキャリア支援センターのきめ細かなサポートによって、全員が希望通りの就職先を選択することができます。

言語聴覚学科 求人数
(2025年3月31日現在)
※全キャンパスの求人数

言語聴覚学科
卒業生就職率
(2024年度卒業生)

1,610件 100%

活躍のフィールド

言語聴覚士は医療機関だけでなく、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活躍しており、ことばや聞こえに問題をもつ方とご家族を支援しています。

医療施設

大学病院、総合病院、
専門病院、
リハビリテーションセンター、
地域医院、
診療所など

保健施設

介護老人保健施設、
デイケアセンター、
訪問看護事業所、
訪問リハビリテーション
事業所など

福祉施設

特別養護老人ホーム、
デイサービスセンター、
肢体不自由児施設、
重症心身障害児施設など

教育機関

小中学校、特別支援学校、
研究施設、
言語聴覚士教育施設
(大学、短大、専門学校) など

学生の未来を手厚くサポート キャリア支援センター

キャリアコンサルタントが学生の強み「乗り越える力」を引き出し、
在学中はもちろん卒業後も継続してさまざまなキャリア支援を行います。



就職実績 (2025年3月卒業生実績)

●本学グループ施設 (栃木県) 国際医療福祉大学病院/国際医療福祉大学塩谷病院/国際医療福祉リハビリテーションセンター (千葉県) 国際医療福祉大学成田病院
●グループ以外 (宮城県) 仙台リハビリテーション病院 (山形県) 山形済生病院/山形病院 (福島県) 竹田総合病院/会津中央病院/総合南東北病院/星総合病院/かしま病院/福島県福祉事業協会 (茨城県) 茨城県厚生連/牛久愛和総合病院/茨城西南医療センター病院/立川記念病院 (栃木県) 那須赤十字病院/芳賀赤十字病院/新小山市民病院/とちぎメディカルセンター/とちぎメディカルセンターしもつが/藤井脳神経外科病院/リハビリテーション花の舎病院/栃木県立リハビリテーションセンター (群馬県) 医療法人社団日高会/美原記念病院 (埼玉県) 戸田中央リハビリテーション病院/行田総合病院 (千葉県) 船橋市立リハビリテーション病院 (東京都) 北原国際病院 (神奈川県) イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 (長野県) 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター (静岡県) 株式会社大塚 (京都府) 武田病院グループ

